

科目名称	成人看護学方法論Ⅰ（急性期・回復期）	学年学期	単位数	時間数
		2学年前期	1	30
担当教員	福田栄江 宮下佳生 他	授業に関わる 実務経験	☒ 有（看護師） ☐ 無	

【1】授業概要

急激な健康破綻をきたし危機的状況にある対象の身体的、心理的、社会的に及ぼす影響を理解し、生命の維持や健康の回復に向けた看護の基礎的知識を習得するとともに、その家族への看護支援方法について学ぶ。また、病気からの回復あるいは障害への移行、依存から自立への移行、入院患者から地域での生活者への移行の時期である回復期における援助方法を学ぶ。

【2】学習目標

1. 急性期にある対象と家族の特徴を説明できる。
2. 急性期にある対象をアセスメントするために必要な情報を説明できる。
3. 回復期にある対象の身体的・精神的・社会的特徴を理解できる。
4. 回復期における対象の機能障害と日常生活の変化を関連させて考えられる。
5. 急性期・回復期にある対象と家族に回復過程に応じた援助方法を説明できる。
6. チームアプローチの意義およびチームにおける看護師の役割、他職種との連携を理解できる。

【3】第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間を統合された存在として多角的に捉えることができる。
- 2. 人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重した判断および行動をすることができる。
- 3. 人々の多様な価値観を認識して、専門職業人としての共感的態度および倫理に基づいた看護実践をすることができる。
- 4. 看護の対象となる人々の健康状態を判断し、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。
- 5. 保健・医療・福祉チームの一員として多職種の連携・協働を図り調整的役割を果たすことができる。
- 6. 松山市および愛媛県周辺の地域医療への理解を深め、地域の人々の生活を尊重・支援することができる。
- 7. 自己の資質向上のため、看護に対する探究心・向上心をもち、主体的に学び続けることができる。

【4】授業計画

	内容	主な授業形態	講師
1	手術を受ける患者の看護	講義	福田栄江
2	救命救急時の看護	講義	山下さつき
3	手術中の看護	講義	今井幹也
4	手術後の看護(人工呼吸器)	講義・演習	宇都宮学
5	手術後の看護	講義	中村京子
6	胃がんの手術を受ける患者の看護	講義	福田栄江
7	人工肛門造設患者の看護	演習	門田拓也
8	回復期およびリハビリテーション看護の考え方	講義	宮下佳生
9	リハビリテーション看護に関する法制度	講義	宮下佳生
10	リハビリテーション看護を展開するための基盤	講義	宮下佳生
11	チームアプローチと社会資源	講義	石山久司
12	生活者としての対象を支えるリハビリテーション看護	講義	幸田陽司
13	生活者としての対象を支えるリハビリテーション看護	講義	宮下佳生
14	これからのリハビリテーション看護	講義	宮下佳生
15	筆記試験・まとめ		

【5】評価方法

科目評価は、筆記試験、出席状況、受講態度等で総合的に評価する。

【6】教科書

小松浩子：系統看護学講座 専門分野 成人看護学(1) 成人看護学総論（第16版）医学書院 2025（電子版）

川村雅文：系統看護学講座 専門分野 成人看護学(2) 呼吸器（第16版）医学書院 2025（電子版）
吉田俊子：系統看護学講座 専門分野 成人看護学(3) 循環器（第16版）医学書院 2025（電子版）
南川雅子：系統看護学講座 専門分野 成人看護学(5) 消化器（第16版）医学書院 2025（電子版）
吉岡成人：系統看護学講座 専門分野 成人看護学(6) 内分泌・代謝（第16版）医学書院 2025（電子版）
井手隆文：系統看護学講座 専門分野 成人看護学(7) 脳・神経（第16版）医学書院 2025（電子版）
末岡浩：系統看護学講座 専門分野 成人看護学(9) 女性生殖器（第15版）医学書院 2025（電子版）
池上徹・高橋則子：系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論（第12版）医学書院 2025（電子版）
北川雄光・江川幸二：系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論（第10版）医学書院 2025（電子版）

【7】参考書

安酸史子：ナーシング・グラフィカ 成人看護学(1) 成人看護学概論 第4版 メディカ出版 2021
安酸史子：ナーシング・グラフィカ 成人看護学(3) セルフマネジメント 第4版 メディカ出版 2022

【8】受講生へのメッセージ